

学園だより ⑤

～中川幼稚園・中川小学校～

緑かがやく 青倉の
峰に朝の日は上る
仰げば胸に おどる希望を
育てて行こう ぼくらわたしら
中川 中川 中川小学校



え、周りを緑に囲まれた、まさに緑かがやく学校です。
青倉山の麓には日本最大の揚水式発電所の奥多々良木発電所があり、周辺には美術館、宿泊施設、テニスコートなども整備されています。
学校は創立132年の長い歴史をもち、全校生は小学生児童178人、

幼稚園児56人です。櫛を学校の木と
しています。

① 学校目標に向け

教育目標を「生き生きと学び こころ豊かに たくましく生きる 中川っ子の育成」とし、人権尊重の精神を基盤に児童の個性を伸ばし、夢を育む学校を目指して取り組んでいます。

② きめ細やかな指導の充実

少人数授業やチーム・ティーチングなどを取り入れ、わかる授業・魅力ある授業づくりに取り組んでいます。

また、朝のドリルタイムや放課後の学習タイムでは「読・書・算」の反復練習として漢字や計算ドリル・朝の十分間読書などの取組みをして基礎基本の定着をはかっています。

③ 縦割り班による活動

清掃、草取り、春の遠足、若葉運動会などでは、一年生から六年生までの異年齢のグループに分かれて活動しています。高学年の児童が低学年を指導することにより、高学年としての自覚とリーダー性を培っています。



清掃、草取り、春の遠足、若葉運動会などでは、一年生から六年生までの異年齢のグループに分かれて活動しています。高学年の児童が低学年を指導することにより、高学年としての自覚とリーダー性を培っています。

④ 人権を大切にしたい取組

人権参観日や人権標語づくりを通

して、小学校と幼稚園の子どもが保護者と一緒に人権について考える場と機会を設けています。また、人権啓発の詩集や書物の輪読会も活発に行うなど人権意識の向上をはかっています。

⑤ 「ひょうごキッズ元気アップ」事業の実践

学年に応じた運動プログラムをたて、基礎体力の向上をめざして取り組んでいます。

走・跳・投の力をつけるため、縄跳び運動やジョギング、マラソン大会を計画しています。



⑥ WT(ワイルドタイム)の取組

各学年とも総合的な時間を活用し、このWTの時間を毎週一時間もうけています。ジャスミン先生(カナダ出身のALT)を囲んで本物の発音にふれ、英語に親しむ学習をしています。子どもたちがとても楽しみにしている授業です。

⑦ オンリーワンスクール事業「中川学びフェスタ」の取組

地域に開かれた学校づくりを進めるため、オープンスクールを学期ごとに開催し、保護者や地域の方へ学校の情報発信していくことにしています。

一学期は若葉運動会でした。二学期は「中川学びフェスタ」を計画しています。これは、「ふるさとを知り、ふるさとから発信しよう」をテーマに一学期からの学習成果を地域の方に発表するものです。低学年はお年寄りとの交流が主になります。多くの方に学校へお越しいただきたいと思っています。

⑧ 防犯・安全への取組

駐在所のお巡りさんに指導していただき防犯教室、交通安全教室を実施しました。また、防犯組織「中川っ子を見守る会」を立ち上げ、地域ぐるみの防犯活動も始まるうとしています。



⑨ 自然に親しむ体験活動

幼稚園では、自然に恵まれた園周辺でのおたまじやくしの観察や草花摘みなどの自然体験やいろいろな人とのかわりを通して豊かな心の醸成をはかっています。

